「学力」とは「自主的に学ぶ力」

―具体的にはどのような内容か―

開倫塾
塾長 林　明夫

Q：「学力」とは「自分から進んで新しいことを学ぶ力」だと先月号の開倫塾ニュースの巻頭言にありました。具体的にはどのようなことですか。

A：(林明夫：以下省略)

(1)「新しいことや今までに学んだことを自ら進んで自分の力で、自主的に学ぶ力が学力です」と言っても、具体的にはどのようなことか例を挙げて説明しなければよくわからなかったですね。まずは説明不足をお詫(わ)びいたします。

(2)自ら進んで自主的に学ぶ力とは一体何か。よく考えてみれば、とても難しい問題ですね。ただし、皆様の毎日の学習にそって考えてみれば、どんなことか少しずつわかってきます。

(3)例えば、夏休みが終わり学校が始まると、皆様は朝起きて家から学校に向かって出発します。遅刻しないで学校の教室に辿(だど)り着く、到着し、朝の清掃や HR(ホームルーム)の時間を迎える。これも「自ら学ぶ力」、つまり「学力」です。授業が始まると、手を机の上に置き先生の目を見て真剣にお話を聞くこと、これも「自ら学ぶ力」、「学力」です。

(4)必要なことをノートにメモし続ける。先生のお話を聞き取り、必要なことかそうでないことかを判断してノートに取れること。先生が黒板に書いたことを先生がそれを消す前に素早くノートに取れること。さらには、取ったノートをあとで見やすいように整理すること。そのノートを繰り返し読み直し、必要なことをどんどん書き加えて、自分なりのテキスト・参考書・マイノートブックを作ること。つまり、ノートを活用できることは大切な「自ら学ぶ力」、「学力」です。

(5)授業中におしゃべりや居眠り、ケータイなどをしないで先生の授業に集中できることも「自ら学ぶ力」、「学力」です。おしゃべりの多い人やなかなか集中できない人は「自ら学ぶ力」、「学力」があるとは言えません。

(6)授業の前にテキストを読んだり、予め問題を解いたりしてその日の授業内容を予習することができる人は「自ら学ぶ力」、「学力」があると言えます。予習をしていて、よくわからないことばがあったら、辞書を用いてその意味を調べ、調べた意味をノートに書き写してその場で覚え、そのことばや意味を書き取り練習して正確に書けるまでにすることができる人

は「自ら学ぶ力」、「学力」があると言えます。

（７）予習をして何がわからないかをはっきりさせてから授業に臨むことができる人、つまり「予習をする力」のある人は「自ら学ぶ力」、「学力」があると言えます。

（８）授業が終わったあとに、先生の授業を思い出しながらその日の授業を振（ふ）り返ることができる人、つまり「振り返る力のある人」は「自ら学ぶ力」、「学力」があると言えます。

（９）授業が終わったあとに、その日の授業でやった内容や計算・問題のすべてをもう一度ノートにやり直すことができる人は「自ら学ぶ力」、「学力」があると言えます。

（10）授業でその日に学んだ内容の中に、よくわからないことばがあったら辞書で調べ、よくわからない内容があったら教科書や授業中のノートや参考書などでわかるようになるまで調べることができる人は「自ら学ぶ力」、「学力」があると言えます。

Ｑ：そのようにして、予習や授業、授業が終わってからの振り返りの学習で、学んだ内容が十分にわかった、「理解」できたらその後、どうしたらよいのですか。

Ａ：（１）「理解」できた内容をテキストやノートなどを用いて大きな声で何回も繰り返し読むことで、スミからスミまで正確に読めるようにする。できれば、何も見ないでスラスラと言えるまでにする。このことができる人、つまり「音読練習」のできる人は「自ら学ぶ力」、「学力」があると言えます。

（２）何も見ないでスラスラ言えるようになった教科書やノートの内容を、今度は楷書（かいしょ）で書き順まで含めて正確に書けるまで繰り返し練習ができる人、つまり「書き取り練習」のできる人は「自ら学ぶ力」、「学力」があると言えます。

（３）テキストやノートの計算・問題の解答がなぜそのようになるのかがよく「理解」できたものは、「計算や問題」を見た瞬間に条件反射でパッパッと正解が出るようになるまで繰り返し練習ができる人、つまり「計算・問題練習のできる人」は「自ら学ぶ力」、「学力」があると言えます。

（４）学校の定期試験や実力試験で、試験範囲表に基づいて十分な学習をし、今まで以上によい点数を取ることができる人は「自ら学ぶ力」、「学力」のある人です。

（５）模擬試験の前に十分な準備をして、今まで以上によい点数・偏差値を取ることができる人は「自ら学ぶ力」、「学力」のある人です。

（６）自分の行きたい学校に進学するために、一所懸命に（一つの所で命を懸けるくらい熱心に）学習し、希望する学校への入学を果たすことができる人は「自ら学ぶ力」、「学力」のある人です。

（７）自分の希望する学校に進学し、自分の力で学ぶことができる人は「自ら学ぶ力」、「学力」のある人です。

（８）社会に出て仕事や社会的な活動、生活をするために必要なことを自分の力で学び続けることができる人は「自ら学ぶ力」、「学力」のある人です。

Ｑ：少しずつわかってきました。「自分の力」で「自主的に」というのはどういうことですか。

Ａ：（１）学校を卒業してからが人生の本番ですので、「自分の力」で「学ぶ」ことが大事です。よい先生、よい教材・テキスト、よい学習の方法を探し求めることも「自分の力」で行わなければなりません。

（２）「自主的に」とは、誰かに言われたからやるのではなく「自から進んで」ということです。学校でも社会でも、ものごとをやるときには誰かに言われたからやるのではなく、自から進んでやること、「自主的に」行うことが大事です。「自己責任」、「自助努力」、「あきらめたらおしまい」、「自分の未来は自分で切り開く」という精神が大切です。

（３）この「自主的に学ぶ」ためには、「人生をどう生きるか」という大きな目的が大切です。私は「一所懸命」に「夢をもって」「よく生きる」ことが人生の目的です。その人生の目的を達成するために、身近なところに「目標」をもってください。例えば、「希望校に合格しよう、そのために今度の模試をがんばろう」などです。

（４）「学力」とは何か。「自主的に学ぶ力」とはどのような力か。是非、御自分でもお考えくださいね。

― 2014 年 8 月 8 日―